

『ほっこい支えあいたい中央』のご紹介

● ほっこい支えあいたい中央(第2層協議会)

地域に支えあいの輪を広げていくために、地域住民同士で話し合う場です。内容としては「地域の困り事」や「あったらいいな！と思う助け合い」について、話し合いをしています。現在は、3つのグループに分かれて、それぞれ新たな地域の支えあい活動に取り組んでいます。



● ほっこい支えあいたい中央の委員

民生委員児童委員、介護予防見守りボランティア、自治会長、認知症支援リーダー、介護予防リーダー、通いの場の運営スタッフ、NPO 法人、社会福祉協議会など、主に地域住民の方で構成され、月に1回話し合いの場に参加しています。「地域の支えあい活動に興味がある」という方は、**年齢問わず誰でも参加できます。**



ほっこい支えあいたい中央の活動内容(令和4年度～)

～新たな地域の支えあい活動～

「地域の困り事」や「あったらいいな！」と思う助け合いを整理し、3つのグループに細分化。新たな地域の支えあい活動に取り組んでいます。

グループ①Go to まち歩き

【活動内容】まち歩き・地域資源マップ作成・ウォークラリーの企画・子どもの見守り

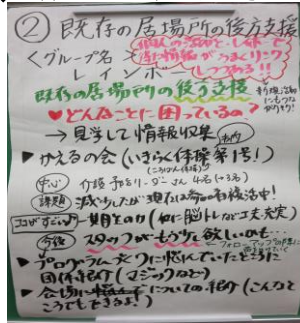
小川町2丁目
ウォークラリー企画中



グループ②レインボー

【活動内容】
既存の居場所の後方支援

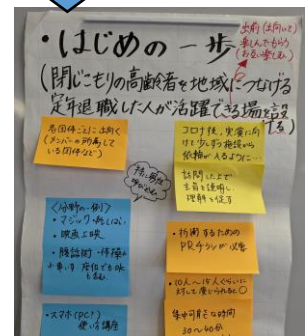
プログラムづくりに困っている居場所に団体紹介や団体への連絡調整等行う。



グループ③はじめの一步

【活動内容】閉じこもりがちな高齢者を地域へつなげる・定年退職した人が活躍できる場を設ける

出前イベント企画中



裏面もご覧ください

支えあいの地域づくりの仕組み

ほっこり支えあいたい中央
(第2層協議会)



生活支援コーディネーター
(地域支えあい推進員)



地域課題を考え、地域に支えあいの輪を
広げていくために住民同士で「話し
合う場」。そして、地域のためになり
そうなことは「やってみる！」

協議会と協働しながら、住民主体のサ
ービスが活発化されるよう地域全体で
高齢者を支える体制づくりを地域の
方々と共に進める調整役

地域の困りごと (地域課題)

- ・買い物や通院が大変
- ・住民同士の交流が少ない
- ・定年後、何をしたらよいか
- ・活動の担い手不足
- ・移動手段の確保

支えあう



つなぐ
(マッチング)

サービス・場所・ 人材(地域資源)

- ・有償ボランティア
- ・交流サロン ・高齢クラブ
- ・自治会 ・見守り活動
- ・NPO ・民間企業 ・配食
- ・移動販売 ・地域住民 など

**住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために
「ほっこり支えあいたい中央」の一員になりませんか**

※興味を持ってくださった方は、下記問合せ先までご連絡ください！

【問合せ】小平市地域包括支援センター中央センター

(ほっこり支えあいたい中央 窓口)

住所：小平市小川町2-1333 健康福祉事務センター1階

電話：042-345-0691

担当：生活支援コーディネーター 中(なか)